



2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年11月6日

上場会社名 アイホン株式会社

上場取引所 東名

コード番号 6718 URL <https://www.aiphone.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 市川 周作

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室副室長 (氏名) 和田 健

TEL 052-228-8181

四半期報告書提出予定日 2018年11月9日

配当支払開始予定日

2018年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	22,370	3.7	1,004	△6.8	1,041	△5.8	907	13.4
2018年3月期第2四半期	21,563	4.1	1,077	△14.4	1,105	△9.8	800	△8.7

(注)包括利益 2019年3月期第2四半期 1,232百万円 (△35.8%) 2018年3月期第2四半期 1,918百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	55.65	—
2018年3月期第2四半期	49.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	55,707	47,005	84.4
2018年3月期	54,634	46,035	84.3

(参考)自己資本 2019年3月期第2四半期 47,005百万円 2018年3月期 46,035百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	16.00	—	16.00	32.00
2019年3月期	—	16.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	16.00	32.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,500	5.3	3,000	6.9	3,100	8.4	2,300	50.0	141.01

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、【添付資料】9ページ「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2019年3月期2Q	18,220,000 株	2018年3月期	18,220,000 株
2019年3月期2Q	1,909,350 株	2018年3月期	1,909,005 株
2019年3月期2Q	16,310,763 株	2018年3月期2Q	16,311,196 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益が高水準で推移し、雇用情勢も引き続き改善が見られるなど緩やかな景気回復が続きました。

当社グループを取り巻く環境につきましては、日本国内の新設住宅着工戸数はほぼ前期並みに推移する一方で、インターホン設備等の更新需要は拡大いたしました。海外市場におきましては、米国では業務市場を中心にセキュリティニーズが高く、引き合いが増加いたしました。

このような状況の中で、当社グループはお客様のニーズに応えるべく、引き続き新製品の開発と積極的な営業活動を展開して業績の向上に努めてまいりました。

当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は223億7千万円（前年同四半期連結累計期間比3.7%増）、営業利益は10億4百万円（同6.8%減）、経常利益は10億4千1百万円（同5.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、投資有価証券売却益などを計上したことにより9億7百万円（同13.4%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

セグメントの名称	会社名
日本	アイホン株式会社
北米	アイホンコーポレーション
欧州	アイホンS. A. S.、アイホンUK
タイ	アイホンコミュニケーションズ（タイランド）
ベトナム	アイホンコミュニケーションズ（ベトナム）
その他	アイホンPTY、アイホンPTE.、愛峰（上海）貿易有限公司

(日本セグメント)

国内の住宅市場につきましては、戸建住宅におきまして、新築では当社の納入時期にあたる住宅着工戸数が前年同期から微減したことに加え、競争が激しさを増したことによる販売価格下落の影響で売上は減少いたしました。一方、リニューアルでは、ワイヤレステレビドアホンの販売が好調であったことから売上が増加いたしました。新築の減少分を補うことができず、戸建住宅全体としての売上は減少いたしました。

集合住宅につきましては、新築では当社の納入時期にあたる住宅着工戸数が前年同期からほぼ横ばいとなる中、分譲マンションにおきましては機能とともにデザインを重視した新商品の販売が好調に推移いたしました。また、賃貸マンション・アパートにおきましても小規模マンション・アパート向けシステムの販売が順調に推移したことにより、売上は前年同期より増加いたしました。またリニューアルでは、分譲マンション向け新商品の販売が順調に推移したことに加え、これまで行ってきた賃貸マンション・アパートへの営業体制強化の効果が拡大し、販売は増加いたしました。この結果、住宅市場全体といたしましては、売上は増加いたしました。

ケア市場につきましては、病院におきましては新設着工数が減少する中、積極的な受注活動により新築、リニューアルともに売上は増加いたしました。高齢者施設におきましては、新築は伸び悩みましたが、リニューアルでIPネットワーク対応ナースコールシステムを軸とした営業活動が功を奏し売上が増加いたしました。高齢者住宅におきましては納入対象となる案件が新築、リニューアルともに減少したことにより売上が減少いたしました。この結果、ケア市場全体といたしましては、売上はほぼ前年同期並みとなりました。

これらの結果、売上高は194億9千5百万円（前年同四半期連結累計期間比1.5%増）となりました。なお、営業利益につきましてはグループ間取引価格の変更の影響や経費の増加等もあり3億7千7百万円（同45.5%減）となりました。

(北米セグメント)

アメリカの販売子会社であるアイホンコーポレーションにつきましては、住宅市場において他社との競争が激化し、販売が伸び悩みました。しかしながら、社会的背景からセキュリティニーズがさらに高まる中、自社営業化による積極的な営業活動を展開してきたことにより、学校や店舗などへのIPネットワーク対応インターホンシステムやテレビドアホンの販売が好調に推移し、売上は増加いたしました。

これらの結果、売上高は40億1千9百万円（前年同四半期連結累計期間比13.3%増）となりました。なお、営業利益につきましてはグループ間取引価格の変更の影響等もあり3億2千3百万円（同347.5%増）となりました。

(欧州セグメント)

フランスの販売子会社であるアイホンS.A.S.につきましては、テレビドアホンの積極的なプロモーション戦略や公団住宅などを対象とした集合住宅システムの戦略的な受注活動が功を奏し、販売が好調に推移いたしました。

イギリスの販売子会社であるアイホンUKにつきましては、集合住宅向けシステムの販売が伸び悩み、売上は減少いたしました。

これらの結果、売上高は18億9千2百万円（前年同四半期連結累計期間比9.2%増）となりました。なお、営業利益につきましてはグループ間取引価格の変更の影響等もあり3千7百万円（同37.5%減）となりました。

(タイセグメント)

生産子会社であるアイホンコミュニケーションズ（タイランド）は、当社グループ向けに製品等を生産・出荷しております。売上高は39億2千9百万円（前年同四半期連結累計期間比3.5%増）となりました。なお、営業利益につきましてはグループ間取引価格の変更の影響等もあり1億9千9百万円（前年同四半期連結累計期間は営業損失1百万円）となりました。

(ベトナムセグメント)

生産子会社であるアイホンコミュニケーションズ（ベトナム）は、当社グループ向けに製品等を生産・出荷しております。売上高は13億2千1百万円（前年同四半期連結累計期間比4.4%増）、営業利益は5千5百万円（同63.1%増）となりました。

(その他)

報告セグメントに含まれない販売子会社といたしまして、オーストラリアの販売子会社であるアイホンPTYにつきましては、集合住宅市場におきまして競争が激化し、販売価格が下落したことにより売上は微減となりました。

シンガポールの販売子会社であるアイホンPTE.につきましては、前年同期の売上に寄与した官公庁大型施設案件への納入が一段落するとともに、他社との競争が激化したことにより、売上は減少いたしました。

中国の販売子会社愛峰（上海）貿易有限公司につきましては、グループ全体の経営効率向上を図るために2017年12月に解散手続きを開始しております。

これらの結果、報告セグメントに含まれない販売子会社におきましては、売上高は4億6千3百万円（前年同四半期連結累計期間比12.4%減）となりました。また、上述の愛峰（上海）貿易有限公司の解散手続きを開始した影響により営業損失2千7百万円（前年同四半期連結累計期間は営業利益3千4百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 業績の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は557億7百万円（前連結会計年度末546億3千4百万円）となり10億7千3百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が19億6百万円増加、たな卸資産が5億9千4百万円減少したことによるものです。

負債は87億2百万円（前連結会計年度末85億9千9百万円）となり1億2百万円増加いたしました。これは主に、繰延税金負債が1億2千4百万円増加したことによるものです。

純資産は470億5百万円（前連結会計年度末460億3千5百万円）となり9億7千万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が6億4千6百万円増加、為替換算調整勘定が5億8百万円増加したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ20億7千6百万円増加し、143億9千2百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は22億6千4百万円（前年同四半期に使用した資金は7億1千万円）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益11億6千8百万円の計上、たな卸資産の減少額7億4千5百万円、減価償却費4億2千7百万円の計上などがあったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は8千7百万円（前年同四半期連結累計期間比92.4%減）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出6億2千5百万円があったものの、有価証券の売却及び償還による収入5億円などがあったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は2億7千3百万円（前年同四半期連結累計期間比7.1%減）となりました。これは主に、配当金の支払額2億6千万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の通期の業績予想につきましては、現時点では2018年5月7日付決算短信で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,632	15,539
受取手形及び売掛金	9,616	9,819
電子記録債権	1,801	1,596
有価証券	1,197	894
製品	3,649	3,533
仕掛品	1,813	1,736
原材料	3,606	3,204
その他	335	274
貸倒引当金	△60	△73
流動資産合計	35,593	36,526
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,616	5,713
減価償却累計額	△3,923	△4,027
建物及び構築物 (純額)	1,692	1,685
機械装置及び運搬具	1,734	1,840
減価償却累計額	△1,073	△1,078
機械装置及び運搬具 (純額)	661	762
工具、器具及び備品	7,229	7,426
減価償却累計額	△6,170	△6,361
工具、器具及び備品 (純額)	1,058	1,065
土地	4,995	5,009
リース資産	108	111
減価償却累計額	△44	△37
リース資産 (純額)	63	73
建設仮勘定	192	336
有形固定資産合計	8,664	8,933
無形固定資産		
その他	0	0
無形固定資産合計	0	0
投資その他の資産		
投資有価証券	7,927	7,772
繰延税金資産	1,009	1,080
その他	1,441	1,396
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	10,377	10,247
固定資産合計	19,041	19,181
資産合計	54,634	55,707

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
電子記録債務	539	514
買掛金	1,593	1,432
リース債務	19	23
未払法人税等	266	237
製品保証引当金	151	146
その他	3,912	4,003
流動負債合計	6,483	6,357
固定負債		
リース債務	48	56
再評価に係る繰延税金負債	118	118
退職給付に係る負債	300	348
その他	1,649	1,821
固定負債合計	2,116	2,344
負債合計	8,599	8,702
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,388	5,388
資本剰余金	5,407	5,407
利益剰余金	35,875	36,521
自己株式	△3,273	△3,273
株主資本合計	43,398	44,044
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,664	2,452
土地再評価差額金	△438	△438
為替換算調整勘定	635	1,144
退職給付に係る調整累計額	△224	△197
その他の包括利益累計額合計	2,636	2,961
純資産合計	46,035	47,005
負債純資産合計	54,634	55,707

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	21,563	22,370
売上原価	11,788	12,327
売上総利益	9,775	10,042
販売費及び一般管理費	8,697	9,038
営業利益	1,077	1,004
営業外収益		
受取利息	16	21
受取配当金	76	78
受取家賃	24	24
為替差益	6	5
その他	35	36
営業外収益合計	158	166
営業外費用		
支払利息	2	2
売上割引	105	109
その他	22	17
営業外費用合計	130	129
経常利益	1,105	1,041
特別利益		
固定資産売却益	0	7
投資有価証券売却益	—	126
特別利益合計	0	133
特別損失		
固定資産売却損	4	3
固定資産除却損	1	3
減損損失	1	—
特別損失合計	7	6
税金等調整前四半期純利益	1,098	1,168
法人税等	298	260
四半期純利益	800	907
親会社株主に帰属する四半期純利益	800	907

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	800	907
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	687	△211
為替換算調整勘定	368	508
退職給付に係る調整額	61	27
その他の包括利益合計	1,118	324
四半期包括利益	1,918	1,232
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,918	1,232

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,098	1,168
減価償却費	390	427
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	9
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	98	83
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	14	△5
受取利息	△16	△21
受取配当金	△76	△78
為替差損益 (△は益)	△37	△30
支払利息	2	2
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△126
固定資産売却損益 (△は益)	3	△3
固定資産除却損	1	3
減損損失	1	—
売上債権の増減額 (△は増加)	179	144
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△621	745
仕入債務の増減額 (△は減少)	△246	△240
その他	△722	237
小計	69	2,317
利息及び配当金の受取額	98	107
利息の支払額	△2	△2
法人税等の支払額	△876	△157
営業活動によるキャッシュ・フロー	△710	2,264
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△632	△211
定期預金の払戻による収入	607	412
有価証券の取得による支出	△300	△98
有価証券の売却及び償還による収入	400	500
有形固定資産の取得による支出	△520	△625
有形固定資産の売却による収入	3	52
投資有価証券の取得による支出	△710	△304
投資有価証券の売却による収入	—	187
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,152	△87
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	△0
リース債務の返済による支出	△16	△11
配当金の支払額	△277	△260
財務活動によるキャッシュ・フロー	△294	△273
現金及び現金同等物に係る換算差額	153	173
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,004	2,076
現金及び現金同等物の期首残高	14,657	12,315
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,653	14,392

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、主として当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	北米	欧州	タイ	ベトナム	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	15,787	3,518	1,728	—	—	21,035	528	21,563	—	21,563
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	3,424	27	5	3,798	1,265	8,521	—	8,521	△8,521	—
計	19,212	3,546	1,733	3,798	1,265	29,556	528	30,085	△8,521	21,563
セグメント利益 又は損失(△)	693	72	59	△1	34	858	34	893	184	1,077

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オーストラリア及びシンガポール並びに上海の現地法人の事業活動を含んでいます。

2 セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	北米	欧州	タイ	ベトナム	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	16,039	3,990	1,876	—	—	21,907	463	22,370	—	22,370
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	3,455	29	15	3,929	1,321	8,752	—	8,752	△8,752	—
計	19,495	4,019	1,892	3,929	1,321	30,659	463	31,122	△8,752	22,370
セグメント利益 又は損失(△)	377	323	37	199	55	993	△27	966	38	1,004

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オーストラリア及びシンガポール並びに上海の現地法人の事業活動を含んでいます。

2 セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。